

令和3年度 本宿小学校 「豊かな心の育成」推進プラン

中期学校経営方針「豊かな心」達成目標

人とのかかわりを重視し、豊かな人間関係を築くとともに、一人ひとりの児童の自尊感情を育み、自他を大切にすることを育てます。

児童の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

学校のきまりを守って生活しようという気持ちをもつ児童は多い。校内や、登下校時の挨拶や地域の方への挨拶には消極的である。自尊感情の低い児童、傷つきやすい児童がいる。たてわり活動や集団登校班で異学年との交流があり、6年生が育つ仕組みがある。

「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

子どもの社会的スキル横浜プログラムを活用し、自分づくり、仲間づくり、集団づくりに生かす。

指針1 「道徳の時間の充実」

- ・各学級で年1回の道徳の授業参観を設定する。
- ・児童の実態に合わせた課題を設定し、「考え、対話する道徳」を目指す。

指針2 体験活動の充実

- ・たてわり活動を通して、高学年が自覚と責任をもって行動できる実践力や主体性、異学年との協力や思いやりの心を育てる。
- ・子どもの社会的スキル横浜プログラムを通して、人とのかかわりを増やし、自尊感情を育てたり、自他を尊重する態度を育てたりする。
- ・宿泊体験学習を通して、互いに協力してよりよい集団行動ができる力を育てる。
- ・国際理解教育や外国語活動を通して、他の文化を知り、交流を図る。

指針3 確かな人権感覚・意識の育成

- ・授業を中心とした、すべての教育活動を通して、人権教育の充実を図る。
- ・児童の支援について共通理解を図り、外部講師による講演会や研修会を通して児童理解、特別支援の充実を図る。

指針4 豊かな感性や情操の育成

- ・朝読書や作品展、音楽集会、体験学習などを通して、豊かな感性を育てる。
- ・菜園での栽培活動や様々な自然体験活動を通して命を大切にする心を育てる。